

第40回 日本保健医療行動科学学会学術大会のご案内(第一報) [2025.12.3]

- テーマ 行動科学の「知」を結ぶ——医療人類学、エスノグラフィ、パフォーマンス
- 会期 2026年6月20日(土)、6月21日(日)
- 会場 福井市地域交流プラザ(AOSSA)(福井市手寄1丁目4-1)
- 大会長 道信 良子(福井県立大学看護福祉学部教授)
- 企画の概要

医療人類学をはじめとする、保健医療行動科学のさまざまな分野の理論や方法論、そして具体的な実践をもとに、「病いや障がい生きること」、「病いや障がい生きる人を支えること」そして「人を包むまち」について、エスノグラフィやパフォーマンス(創造的な実践)の視点も取り入れながら考えていきます。

※最新情報は、随時、日本保健医療行動科学学会 web サイト(<https://www.jahbs.info/taikai40.html>)に掲載します。

▼プログラム概要(内容・スケジュールは一部変更される場合があります)

■ 6月20日(土)

(午前) 拡大理事会、顧問・評議員会、総会

(午後) 基調講演「ヘルス・エスノグラフィ」 道信良子 福井県立大学看護福祉学部

特別講演①「メンタルヘルスの人類学」 北中淳子 慶應義塾大学文学部

シンポジウム「人を包むまち」

「暮らしに、人に、地域に、未来に、つながりに注目した医療の佇み方」

紅谷浩之 医療法人社団オレンジ

「助け合いのカタチ——マレーシア先住民の暮らしから」

信田敏宏 国立民族学博物館 教授

「アートでつながる、ココロがつながる」

信田静香 芸術家

懇親会 ウェルアオッサ(福井市地域交流プラザ内)

■ 6月21日(日)

(午前) 一般演題(口頭発表・ポスター発表)

特別講演②(海外演者)「孤独社会におけるつながりの形成」

小澤デシルバ慈子 エモリー大学 教授

(午後) ワークショップ(3題)

「きょうも一日楽しかったね」を日常に——ふくいこどもホスピスの活動

石田千尋 NPO法人ふくいこどもホスピス 代表理事

「ナラティブ・アプローチ」 中川晶 ながかわ中之島クリニック 院長

「多職種間ミニ・エスノグラフィー」 JAHBS DMIU(職種間理解のための対話的ミーティング)チーム

▼参加登録・演題登録 2026年3月1日(日)開始

▼大会事務局・問い合わせ等

第40回日本保健医療行動科学学会学術大会実行委員会事務局 担当:蓮井貴子(大会事務局長)

Email:40jahbs@gmail.com

〒090-0011 北海道北見市曙町664-1 日本赤十字北海道看護大学内